

水環境とリスク管理・評価に関する シンポジウム

開催日：平成18年10月25日（水）

会場：東京国際フォーラム ホールD5

時間：13:00～17:30 12:30より受付開始

後援(予定)：経済産業省、環境省

協賛(予定)：旭化成㈱、旭硝子㈱、味の素㈱、石川島播磨重工業㈱、宇部興産㈱、㈱荏原製作所、王子製紙㈱、
鹿島石油㈱、㈱力ネカ、関西電力㈱、関西ペイント㈱、九州電力㈱、協和発酵工業㈱、栗田工業㈱、
㈱クレハ、㈱神戸製鋼所、佐川急便㈱、三共㈱、JFEスチール㈱、四国電力㈱、昭和シェル石油㈱、
昭和電工㈱、新日本製鐵㈱、新日本石油㈱、住友化学㈱、住友金属工業㈱、積水化学工業㈱、
大日本インキ化学工業㈱、大日本印刷㈱、武田薬品工業㈱、中国電力㈱、中部電力㈱、電源開発㈱、
東京ガス㈱、東京電力㈱、㈱東芝、東ソー㈱、東電環境エンジニアリング㈱、東燃化学㈱、
東燃ゼネラル石油㈱、東邦ガス㈱、東北電力㈱、㈱トクヤマ、トヨタ自動車㈱、日産自動車㈱、
日新製鋼㈱、日本化薬㈱、日本製紙㈱、日本電気㈱、日本ペイント㈱、富士写真フイルム㈱、
富士通㈱、㈱プリズトン、北陸電力㈱、北海道電力㈱、本田技研工業㈱、松下電器産業㈱、
三井化学㈱、三井金属鉱業㈱、三菱化学㈱、三菱重工㈱、三菱製紙㈱、横浜ゴム㈱(社名五十音順)

シンポジウム開催のご案内

21世紀は水の世紀と言われています。よりよい水環境の実現のためには、河川等の水環境保全の必要性を広く理解し、各界各層が共通した認識のもとで対策に取り組んでいくことが不可欠です。

即ち、従来は人の健康保護のための環境負荷物質削減対策を中心に進められましたが、近年においては、水質、水量、水生生物及び水辺地を含めた水環境の保全が総合的に進められるなど、リスク管理や評価等も取り入れられてきています。

また、水辺環境や生態系保全の観点から水質目標設定のための検討が進められ、すでに全亜鉛の環境基準及び排水基準が設定されました。今後、水質目標設定のための調査検討が順次行われる見込みです。

一方、国及び地方自治体では定期的なモニタリングを実施し、流域環境の現状把握を行うとともに、水量確保等のための諸施策も講じられています。

また、産業界においては、水循環実現のために、排水処理等もとより、水利用の合理化や化学物質等による水環境への負荷を低減するため自主的な取組を行い、工業用水を利用し産業活動を行い、環境と経済の両立を図っています。

以上のことから、私たちの水にまつわる生活や産業活動を振り返り、また環境教育の身近な教材でもある河川等の水環境について、各主体の果たすべき役割や相互理解を深めるため、水環境保全と化学物質等によるリスク管理や評価をテーマにシンポジウムを開催します。

13:00～13:05	開 会	関澤秀哲 社団法人産業と環境の会 会長
13:05～13:40	基調講演	「化学物質等に関する水環境保全政策について」 寺田達志 環境省 水環境担当審議官
13:40～14:20	講 演	「協和発酵工業における取り組み」 東 眞幸 協和発酵工業株式会社 品質保証・環境安全部長
14:20～15:00	講 演	「神奈川県における取り組み」 岸川敏郎 神奈川県環境農政部 化学物質対策担当課長
15:00～15:10	休 憩	
15:10～15:50	講 演	「市民が期待する水環境保全等のためのリスク管理」 有田芳子 主婦連合会 環境部長
15:50～16:30	特別講演	「リスク管理と評価のあり方」 安井 至 国連大学 副学長
16:30～17:25	パネルディスカッション	コーディネーター 安井 至 パネリスト 講演者
17:25	閉 会	中西輝明 社団法人産業と環境の会 専務理事

このシンポジウムは平成18年度河川整備基金の助成を受けて開催します

参加費無料

申込締切

10月10日（火）

* 講演タイトル等は都合により変更となる場合がございますので、予めご了承下さい。

参加ご希望の方は裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。ホームページからもお申し込みできます。
<http://www.sankankai.com/>

問い合わせ先 社団法人産業と環境の会 シンポジウム事務局
電話 03-3580-2141 / FAX 03-3580-2174
E-mail:sankan@poppy.ocn.ne.jp